

令和5年2月22日

「観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業」についての オンライン報告会を開催します

- 文化庁では、旅行者の長期滞在・消費拡大を図る文化観光コンテンツのモデルを創出し、「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環につなげることを目的として、文化施設や文化資源の高付加価値化を図る事業を実施しました。
- 本報告会では、この事業に取り組んだそれぞれの地域や事業の課題に対する解決手法や今後の推進方策などについて、各事業者や外部有識者・専門家である担当コーチを迎えてご報告します。
- 文化観光の推進にご関心がある事業者や地方公共団体等の方々はぜひご視聴ください。

【名称】 「観光再開・拡大に向けた文化観光コンテンツの充実事業」オンライン報告会

【日時】 令和5年3月9日(木) 18:00～20:05

【形式】 オンラインライブ配信（一部事前収録あり）

【申込 URL】 <https://bunkakanko2022.peatix.com> 視聴無料

上記 URL にアクセスし、お申込みください。当日申込による視聴も可能です。

【プログラム(予定)】

18:00～18:05	開会挨拶
18:05～18:20	文化観光 概要説明
18:20～18:35	今年度事業 概要説明
18:35～19:05	今年度事業 事例紹介
19:05～20:05	今年度事業の総括・一般視聴者からの質疑応答
20:05	終了予定

※詳細は、<https://bunkakanko2022.peatix.com> をご参照ください。(随時更新予定)

※報道機関の本報告会取材は、「配信会場での傍聴」と「オンラインでの視聴(報道関係者専用 URL あり)」の同時開催です。詳しくは、上記の URL をご参照ください。

<施策に関する問い合わせ先>

文化庁参事官（文化観光担当）付

担当：安藤 謙（内線 5047）

電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-4869（直通）

<報道に関する問い合わせ先>

（株）サニーサイドアップ

担当：吉野 明美（070-3186-6127）

FAX：03-5413-3050 E-MAIL：aca_pr@ssu.co.jp

<事業全体に関する問い合わせ先>

本事業事務局

E-MAIL：info@bunkakanko.jp

TEL：03-6222-6747

受付時間：10:00～18:00（土日祝日・年末年始を除く）

事業概要

- 高付加価値旅行層の取り込みも見据えて文化施設や文化資源の高付加価値化を図ることが重要となっている。
- 専門家による伴走支援を受けながらコンテンツを造成する経験等を通じて、専門的な知見・ノウハウを各地の人材・組織に蓄積する。
- 適正な収益を生む持続可能な文化観光コンテンツのモデルの創出を支援し、収益を文化資源等へ還元するため文化資源等関係者の収益基盤を強化するとともに、本事業で得られる成果を他の地域や事業者にも横展開することで、更なる取組の促進を図る。

事業例

(報告会において紹介する事業)

○“クラフトの掛け算”キュレーションを愉しむ北陸伝統文化深耕ツアー確立プロジェクト (石川県小松市)

<https://takigaharafarm.com/>

- ・事業者名:株式会社滝ヶ原クラフトアンドステイ
- ・登壇者 :株式会社滝ヶ原クラフトアンドステイ 代表 堀之内 司氏
(コーチ)HafH Co Inc. 代表取締役 田口 弦矢氏
- ・事業概要:
北陸、小松市から福井市に至る地域における、文化資源(伝統工芸・食・酒)をキュレーションによりマッチング。
地域伝統産業の若手職人の指導のもと、器などの物づくりを体験できるツアーを「滝ヶ原クラフトアンドステイ」で実施。
さらに完成した作品を使って食事をする機会も提供することで、職人とユーザーの相互理解を深め、新たな販路の開発へとつなげた。



○熊本城を中心とする細川家関連遺産群を活用した「シン・熊本」観光コンテンツ造成事業 (熊本県熊本市)

<https://ps-q.jp/tourism/re-construction-tourism/>

- ・事業者名:株式会社くまもと DMC(地域連携DMO法人)
- ・登壇者 :株式会社くまもとDMC 執行役員/地域活性推進部長 外山 由恵氏
(コーチ)株式会社POPS クリエイティブディレクター 田中 淳一氏
- ・事業概要:
文化財の修復・復興過程を観光コンテンツ化する
「re-Construction Tourism」の新たなツーリズムの概念を設定し、そのコンセプトをベースに、震災から復旧中の熊本城において、その復旧作業に携わる石工などの人に焦点を充て、復旧作業中ならではの観光コンテンツを造成。また、熊本城の城主であった細川家の現当主によるガイドツアーなど新たな知的価値も付加し、熊本城と細川家に纏わる高付加価値型体験コンテンツを開発した。

